平成28年度 第2回 印西市水道事業運営審議会資料

平成28年12月20日

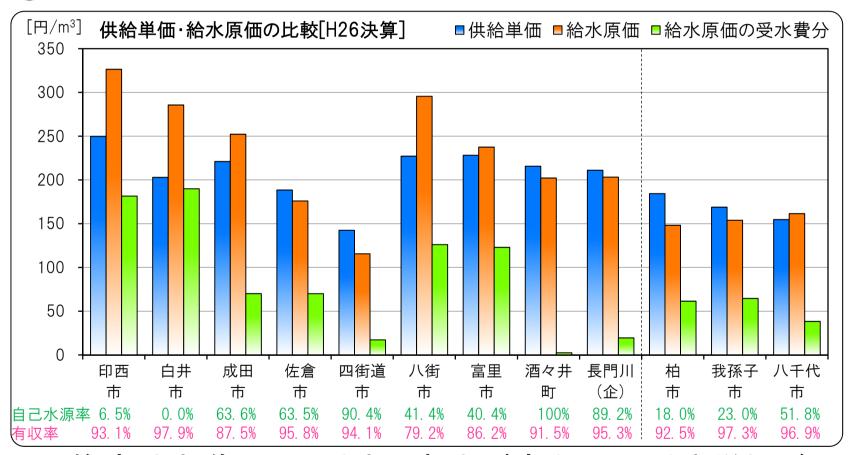
議案1.

印西市水道事業の 経営戦略(案)について

§ 1 市営水道の現状と将来見通し

議案1. 印西市水道事業経営戦略(案)について § 1 市営水道の現状と将来見通し

- 1)経営状況の現状
 - ①給水原価・供給単価



印旛広域水道からの受水の割合が高く、かつ受水単価が 高額なため、給水原価、供給単価とも高い状態にある

1)経営状況の現状

• 財政収支

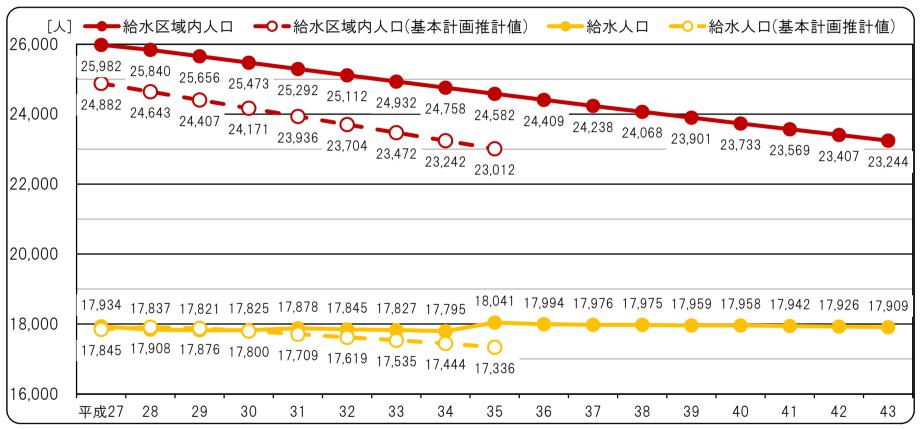
市や県からの繰入金、補助金を受けて、財政収支を維持している

②老朽化の状況

印西地区は昭和52年度から、印旛地区は昭和61年度からの整備開始であり、比較的後発であるため、全体的には 老朽化は深刻ではない

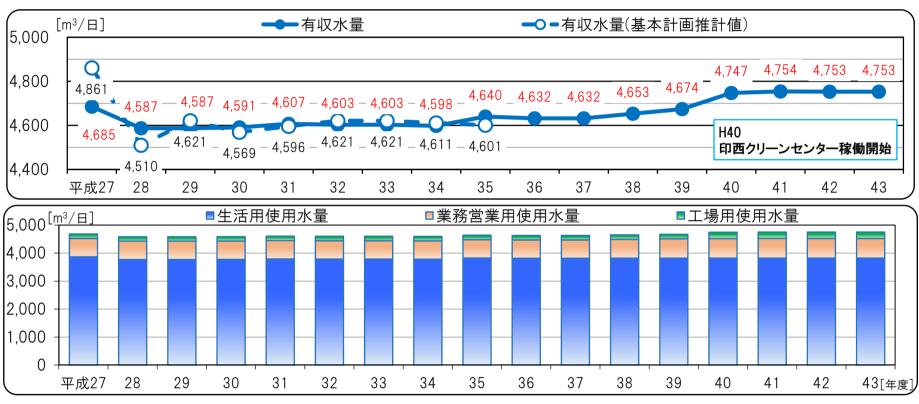
2)給水人口・給水量の見通し

①給水人口の予測



給水区域内人口は、緩やかに減少していくが、給水人口は、 開発区域の入居及び配水管の新設等による増加が見込まれるため、概ね横ばい程度で推移していく。

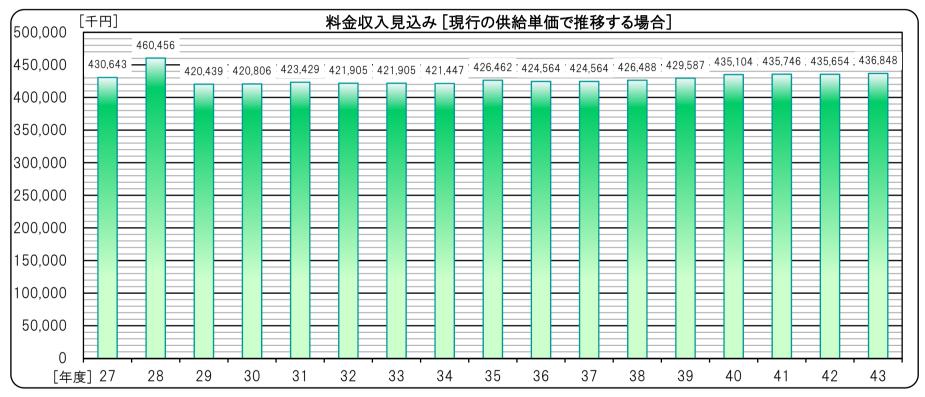
2)給水人口・給水量の見通し ②給水量の予測



- 給水量は、生活用使用水量が多くを占めるため、給水人口と同様の傾向になり、概ね横ばい程度で推移していく
- 平成40年度から印西クリーンセンターへの給水開始により 給水量の増加が期待される

議案1. 印西市水道事業経営戦略(案)について § 1 市営水道の現状と将来見通し

- 2)給水人口・給水量の見通し
 - ③料金収入の見通し



今回は、供給単価は現在と同額としているため、給水量に応じて、平成39年度までは、ほぼ横ばいで、平成40年度以降、印西クリーンセンターへの給水開始により若干の増収が期待される

- 2)給水人口・給水量の見通し
 - ④施設の見通し
 - •配水場の耐震化
 - •配水管の新設
 - ・電気機械設備の更新
 - •管路更新
 - •監視設備整備工事
 - •管内状況
 - ⑤組織の見通し
 - ・業務量が増加した場合の人員不足、災害発生時の協力体制及び技術・知識の継承が課題

§ 2 経営の基本方針

議案1. 印西市水道事業経営戦略(案)について § 2 経営の基本方針

1) 将来像と施策体系

将来像 安全で良質な水を供給し続ける水道に

基本目標	基本方針	施策	取り組み
		定期的な点検・修繕による長寿命化	定期的な点検・修繕
	適切なサイクルでの更新	更新計画に基づく更新	更新計画の策定
		受利計画に基 八史材	更新の実施
強靭	耐震化の推進	耐震化の推進	耐震化計画の策定
	展记の推進	顺 辰 亿 07 推進	耐震化の実施
	 危機管理体制の確立	復旧資材の備蓄	復旧資材の備蓄
	に放音 生体前の惟立	災害時の庁内連携の構築	庁内連携の協議
		水安全計画の策定	水安全計画の策定
安全	安全で良質な水の供給	末端の水質監視	集中監視システムの統合
		赤水対策	洗管計画の策定、管洗浄
	適切な資産管理	アセットマネジメントの推進	アセットマネジメントの作成
持続	資産の合理化	施設の統廃合の検討	施設の統廃合の検討
रंच गण्ट	貝性の口垤ル	管路のダウンスペックの検討	管路のダウンスペックの検討
	経営基盤の強化	水道事業の広域化の検討	近隣事業体との広域化の検討

• 厚生労働省が策定した新水道ビジョンの構成に基づき、 「強靭」、「安全」、「持続」の観点から施策体系を見直した

§ 3 投資計画(整備年次計画)

1)統合基本計画における整備年次計画 ①年次計画表

	 単位∶千円	工事費	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	平成32年	平成33年	平成34年	平成35年
1.		584,200	0	0	32,200	61,300	270,500	91,200	129,000	0	0		0
1)	着水井築造工事	15, 400					15, 400						
2)	ろ過機設置工事	129,000							129,000				
3)	配水池築造工事	255, 100					255, 100						
4)	配水ポンプ設備工事	61, 300				61, 300							
5)	RC配水池耐震補強工事	91, 200						91, 200					
6)	調査委託費	32, 200			32, 200								
2.	拡張配水管整備	286,700	0	7,400	10,000	47,900	21,000	8,600	28,100	37,500	37,400	33,100	55,700
1)	印西中周辺区域	72, 500								18, 100	18, 100	18, 100	18, 200
2)	本埜支所周辺区域	88, 100							19, 400	19, 400	19, 300	15, 000	15, 000
3)	本埜小林地区	78, 900			10,000	47, 900	21,000						
4)	設計委託費	47, 200		7, 400				8,600	8, 700				22, 500
3.	監視設備整備工事	107,900	0	0	0	0	0	0	5,000	102,900	0	0	0
1)	集中監視設備増設工事	102, 900								102, 900			
2)	設計委託費	5, 000							5,000				
4.	既設設備更新工事	659,200	0	8,000	163,600	20,600	4,000	77,700	73,700	94,700	97,400	119,500	0
1)	平岡配水場設備更新工事	289, 800	0	0	162, 600	0	0	18,800	25, 800	0	20, 800	61,800	0
2)	印旛配水場設備更新工事	338, 400	0	0	0	20,600	0	55, 900	43, 900	89, 700	70,600	57, 700	0
3)	設計委託費	31,000		8,000	1,000	0	4,000	3,000	4,000	5, 000	6,000	0	0
5.	管路関係工事その他	306,200	35,800	93,500	10,000	57,800	11,300	16,300	16,300	16,300	16,300	16,300	16,300
1)	七畝割地区配水管更新工事	65, 600	32, 600	33,000									
2)	印旛高跡地整備事業配水管工事	31, 900		31, 900									
3)	吉高台地区配水管更新工事	66, 500			10,000	56, 500							
4)	水管橋整備工事	25, 000							5,000	5, 000	5, 000	5,000	5,000
5)	その他の配水管工事	70,000					10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
6)	配水管路マッピングシステム	20,000		20,000									
7)	設計委託費	27, 200	3, 200	8,600		1, 300	1, 300	6, 300	1,300	1, 300	1,300	1, 300	1, 300
	総事業費	1,944,200	35,800	108,900	215,800	126,300	306,800	193,800	252,100	251,400	151,100	168,900	72,000

● 計画期間:11年間(平成25~35年度)

● 総事業費:19億4,430万円

2)現状に合わせて見直した整備年次計画 ①年次計画表

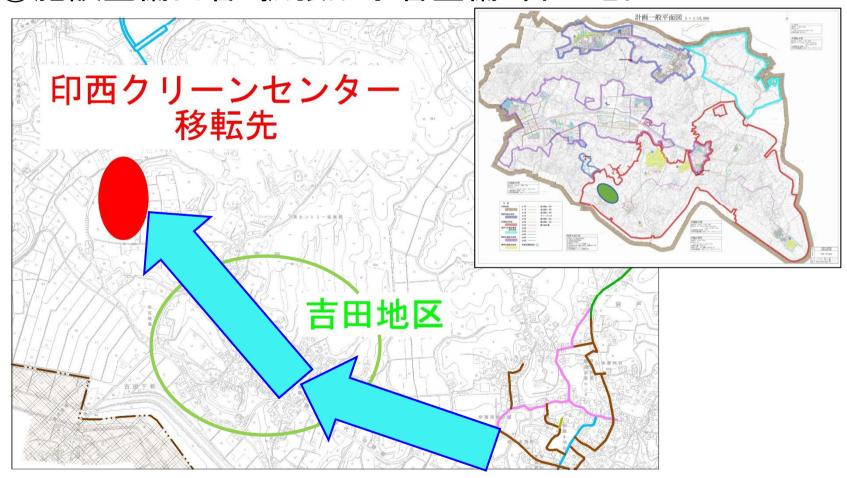
単位: 千円	工事費	平成29年	平成30年	平成31年	平成32年	平成33年	平成34年	平成35年	平成36年	平成37年	平成38年	平成39年	平成40年	平成41年	平成42年	平成43年
1. 平岡配水場耐震補強工事	584,200	0	0	32,200	61,300	270,500	91,200	129,000	0	0	0	0	0	0	0	0
1) 着水井築造工事	15, 400					15, 400										
2) ろ過機設置工事	129, 000							129,000								
3) 配水池築造工事	255, 100					255, 100										
4) 配水ポンプ設備工事	61, 300				61, 300											
5) RC配水池耐震補強工事	91, 200						91, 200									
6) 調査委託費	32, 200			32, 200												
2. 拡張配水管整備	570,100	7,400	38,600	65,200	38,100	0	40,400	89,200	30,300	31,100	65,000	86,800		· ·	0	0
1) 印西中周辺区域	96, 000										24, 000	24, 000	24, 000			
2) 本埜支所周辺区域	88, 100									19, 400	19, 400	19, 300	15, 000	15,000		
3) 小林新田地区	58, 000		31,000	27, 000												
4) 吉田地区	286, 100			38, 200	38, 100		38, 100	84, 900	21, 700		21,600	43, 500				
5) 設計委託費	41, 900	7, 400	7, 600				2, 300	4, 300	8, 600	11, 700						
3. 監視設備整備工事	107,900	0	0	0	0	0	0	5,000		0	0	0	0	0	0	0
1) 集中監視設備増設工事	102, 900								102, 900							
2) 設計委託費	5, 000							5,000								
4. 既設設備更新工事	1,386,700	154,000	77,700	73,700	94,700		119,500	5,000	122,600	364,300	0	2,600		· ·	203,600	12,100
1) 平岡配水場設備更新工事	535, 300	150, 000	18, 800	25, 800	0	20, 800	61, 800			17, 800		1,600	18, 800	17, 300	202, 600	10.100
2) 印旛配水場設備更新工事	357, 900		55, 900	43, 900	89, 700	70,600	57, 700		15, 600					12, 400		12, 100
3) 松崎配水場設備更新工事	435, 500	4 000	0.000	4 000	5 000	0.000		5 000	89, 000	346, 500		1 000	1 000	10.000	1 000	
4) 設計委託費	58,000	4, 000	3,000	4,000	5, 000	6, 000 0	0	5,000	18, 000	0	0.500	1,000	1,000		1,000	155 700
5. その他管路工事 1) 吉高台地区配水管更新工事	1,228,900 180,000	107,000 100,000	216,500 80, 000	126,400	120,400	U	U	1,000	18,900	U	9,500	54,700	157,200	160,600	101,000	155,700
2) 水管橋整備工事	25, 000	100,000	10, 000								7, 500	7, 500				
3) 重要給水路線配水管更新工事	755, 700		120, 500	120, 400	120, 400						7, 500	7, 500	81, 300	125, 200	62, 600	125, 300
4) 配水管耐震化工事	218, 200		120, 500	120, 400	120, 400				18, 900			40, 200	67, 900	30, 400	30, 400	30, 400
5) 設計委託費	50,000	7, 000	6,000	6,000				1,000	10, 900		2,000	7, 000	8,000		8, 000	50, 400
総事業費	3,877,800				314,500	367,900	251,100	,	274,700	395,400					Í	167,800

● 計画期間:15年間(平成29~43年度)

● 総事業費:38億7,780万円

議案1. 印西市水道事業経営戦略(案)について §3 投資計画(整備年次計画)

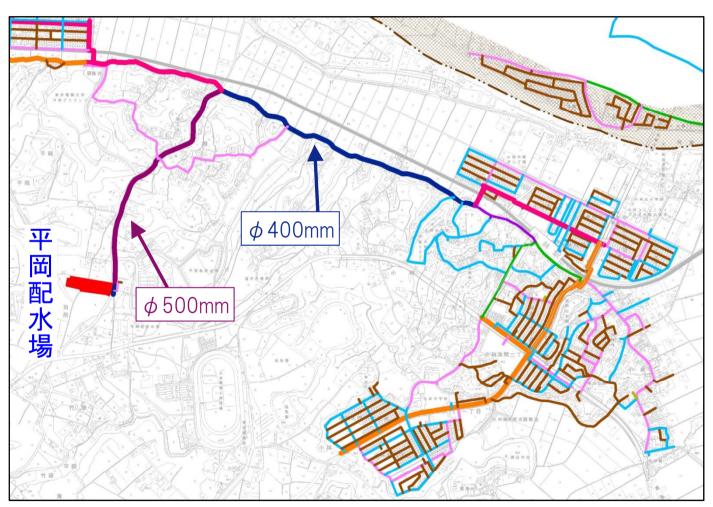
- 2) 現状に合わせて見直した整備年次計画
 - ②施設整備内容: 拡張配水管整備 吉田地区



• 印西クリーンセンターの移転に伴い、未給水となっている 吉田地区と印西クリーンセンターへ配水管を整備する。

議案1. 印西市水道事業経営戦略(案)について §3 投資計画(整備年次計画)

- 2) 現状に合わせて見直した整備年次計画
 - ②施設整備内容:重要給水路線配水管更新



基幹管路の内、配水本管(φ400、500mm)を更新する。

- 2) 現状に合わせて見直した整備年次計画
 - ②施設整備内容:その他変更点
 - 松崎配水場設備更新

統合基本計画の際には、まだ比較的新しく、更新を見込んでいなかった松崎配水場の設備を、今回計画の後半で更新する。

• 配水管耐震化工事

印西地区と印旛地区の両方に布設されている耐震性能が低い塩化ビニル配水管を耐震性を有するポリエチレン管に更新する。

3)実現可能な事業費に合わせた整備年次計画

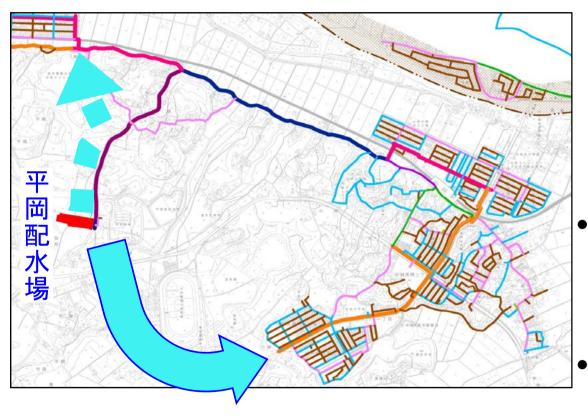
①年次計画表

	単位∶千円	工事費	平成29年	平成30年	平成31年	平成32年	平成33年	平成34年	平成35年	平成36年	平成37年	平成38年	平成39年	平成40年	平成41年	平成42年	平成43年
1.	平岡配水場耐震補強工事	414,500	0	0	0	0	0	32,200	197,000	185,300	0	0	0	0	0	0	0
1)	着水井築造工事	0															
2)	ろ過機設置工事	0															
3)	配水池築造工事	0															
4)	配水ポンプ設備工事	61, 300								61, 300							
5)	RC配水池耐震補強工事	321,000							197, 000	124, 000							
6)	調査委託費	32, 200						32, 200									
	拡張配水管整備	361,200	2,900	31,000	34,600	50,800	50,800	53,100	51,100	43,500	43,400	0	0	0	0	0	0
	印西中周辺区域	0															
	本埜支所周辺区域	0															
· ·	小林新田地区	58, 000		31,000	27, 000												
	吉田地区	286, 100				50, 800	50, 800	50, 800	46, 800	43, 500	43, 400						
	設計委託費	17, 100	2, 900		7,600			2, 300									
3.	監視設備整備工事	107,900	0	0	0	5,000	,	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1)	集中監視設備増設工事	102, 900					102, 900										
	設計委託費	5, 000		_		5, 000											
	既設設備更新工事	1,011,200	150,000	0	900	17,900	23,200	89,800	31,500	7,700	154,600	4,500	90,300	3,700	73,300	17,300	346,500
1)	十四日57.3000000000000000000000000000000000000	260, 900	150, 000				18, 800	19, 900	04 500		61, 800		5 0.000		10, 400		
2)	1 / / / / / / / / / / / / / / / / / / /	279, 800				17, 000		68, 300	31, 500		92, 800		70, 200		20.000		0.40 500
3)	松崎配水場設備更新工事 設計委託費	429, 500			900	900	4 400	1,600		7, 700		4 500	20, 100	3, 700	62, 900	17, 300	346, 500
_		41, 000 626.900	100.500	90,400	7.900	7.500	4, 400 0	1, 600			900	4, 500 23,700	100.200		100,200	95.400	
1)	古高台地区配水管更新工事	180,000	100,000	80,000	7,800	7,500	U	U	J	U	300	23,700	100,200	100,200	100,200	90,700	- 0
2)	水管橋整備工事	25, 000	100,000	10,000	7, 500	7, 500											
3)		381, 600		10,000	1,000	.,000							95, 400	95, 400	95, 400	95, 400	
- /	配水管耐震化工事	18, 900										18, 900	00, 100	55, 100	00, 100	00, 100	
	設計委託費	21, 400	500	400	400						900		4, 800	4, 800	4,800		
	総事業費	2,521,700			43,400	81,200	176,900	175,100	279,600	236,500			Í		ŕ	112,700	346,500

● 計画期間:15年間(平成29~43年度)

• 総事業費:25億2,170万円

- 3)実現可能な事業費に合わせた整備年次計画
 - ②施設整備内容:重要給水路線配水管更新



- 平岡配水場からの配水管 をルートを変えて布設する。このとき、適切な口径 を検討する
- ・引き続き、木下方面の管 についても、適切な口径 での更新を、次の計画期 間で検討

- 3)実現可能な事業費に合わせた整備年次計画
 - ②施設整備内容:その他変更点
 - 平岡配水場耐震補強工事

将来的に、平岡配水場の井戸の取水許可が得られなくなる見込みがあるため、今回計画では着水井築造、ろ過機設置は行わない。

既設配水池の耐震補強工事は行わず、耐震性を有する新しい配水池を築造する。

• 拡張配水管整備

緊急性、重要度の観点から、印西中学校周辺と本埜支所周辺地区については、今回計画から整備を見送る。

- 3)実現可能な事業費に合わせた整備年次計画
 - ②施設整備内容:その他変更点
 - 各配水場設備更新工事

各配水場の電気、機械、計装設備の更新時期について、定期的な点検・修繕により長寿命化を図り、更新時期を法定耐用年数から引き延ばす。

更新年度が全体的に先延ばしされたため、計画期間中の更新費用も削減されている。

• 配水管耐震化工事

今回の期間では、塩化ビニル管の内、耐震性能が低い接着形継手のものを更新する。

§ 4 財政計画(財政収支見通し)

1)収益的収支 ①収益的収支の見通し

																			単位:千円
区		年度(平成)	27年度 決算	28年度 予算	29 年度	30 年度	31 年度	32 年度	33 年度	34 年度	35 年度	36 年度	37 年度	38 年度	39 年度	40 年度	41 年度	42 年度	43 年度
		1 料金収入	430, 643	460, 456	420, 439	420, 806	423, 429	421, 905	421, 905	421, 447	426, 462	424, 564	424, 564	426, 488	429, 587	435, 104	435, 746	435, 654	436, 848
		2 その他営業収益	1,042	1, 100	1, 432	1, 432	1, 432			1, 432			1, 432		1, 432				1, 432
収	収	3 市及び県からの補助金	149, 144	203, 324	205, 264	145, 508	150, 949	150, 919	149, 932	145, 259	138, 517	132, 302	147, 649	144, 863	150, 159	150, 883	148, 074	144, 642	144, 494
	入.	4 長期前受金戻入	67,006	65, 702	64, 886	64, 886	64, 886	64, 880	62, 380	53, 461	52, 706	51, 873	51, 342	32, 433	30, 066	29, 604	27, 960	27, 004	25, 384
		5 その他の収益	21, 940	29, 267	32, 428	32, 428	32, 428	32, 428	32, 428	32, 428	32, 428	32, 428	32, 428	32, 428	32, 428	32, 428	32, 428	32, 428	32, 428
益		収入計	669, 774	759, 849	724, 450	665, 060	673, 125	671, 565	668, 078	654, 028	651, 546	642, 599	657, 415	637, 645	643, 673	649, 452	645, 641	641, 161	640, 586
		1 職員給与費	64, 285	64, 490	64, 490	64, 490	64, 490	64, 490	64, 490	64, 490	64, 490	64, 490	64, 490	64, 490	64, 490	64, 490	64, 490	64, 490	27, 317
的		2 維持管理費	337, 690	400, 679	334, 198	334, 198	334, 082	333, 919	333, 913	333, 901	334, 148	333, 974	333, 974	334, 016	334, 209	334, 228	334, 246	334, 240	334, 385
	支	3 減価償却費	138, 934	145, 031	142, 856	152, 388	154, 676	151, 473	145, 507	131, 072	132, 833	139, 216	141, 714	129, 609	127, 033	126, 181	123, 603	125, 935	126, 654
		4 その他営業支出	78, 213	89, 319	57, 608	57, 292	57, 295	57, 294	57, 294	57, 293	57, 298	57, 296	57, 296	57, 298	57, 301	57, 307	57, 307	57, 307	94, 481
収	出.	5 対利息	7, 534	6, 564	5, 931	5, 411	4, 948	4, 490	4, 025	3, 556	3, 082	2, 620	2, 166	1, 722	1, 283	865	458	144	75
		6 その他の支出	8	1	398	398	398	398	398	398	398	398	398	398	398	398	398	398	398
		支 出 計	626, 664	706, 084	605, 480	614, 177	615, 888	612, 064	605, 626	590, 710	592, 249	597, 993	600, 038	587, 533	584, 714	583, 468	580, 502	582, 515	583, 309
支	3	当年度損益	43, 110	53, 765	118, 969	50, 883	57, <u>2</u> 37	59, 501	62 , 45 1	63, 317	59, 297	44, 606	57, 377	50, 112	58, 959	65, 984	6 5, 138	58, 646	57, 277
	į	<u>貴益一長期前受金</u> 戻入	-23, 896	-11, 937	54, 083	-14, 003	-7, 649	-5, 379	72	9, 856	6, 590	−7, 267	6, 035	17, 679	28, 893	36, 380	37, 178	31, 642	31, 893

- 損益は一定程度の水準で確保できる見通しとなった
- 現金の裏付けのない収入である長期前受金戻入を除くと、マイナスとなる年度も発生している。 (留保資金の増加には若干の支障をきたす)

- 1) 収益的収支
 - ②見通しの詳細(収支作成における考え方)
 - 料金収入 供給単価は平成27年度決算値251.12円/m³で一定
 - 市及び県からの補助金 本市で取り決めている算出方法に基づいて算定
 - 長期前受金戻入 既存取得分と新規取得分に対する長期前受金の戻入を計上
 - その他収入決算、または予算と同程度の水準で見込んでいる。

- 1) 収益的収支
 - ②見通しの詳細(収支作成における考え方)
 - 職員給与費平成28年度予算額で一定
 - 受水費受水量に応じて現行の受水単価を用いて算定
 - 維持管理費 取水量、配水量に応じて決算を基準として算定
 - 減価償却費既存資産と新規取得資産に対する費用を計上
 - 支払利息企業債の償還額の内、利子分を計上
 - その他支出平成28年度予算と同程度を計上

2)資本的収支

①資本的収支の見通し

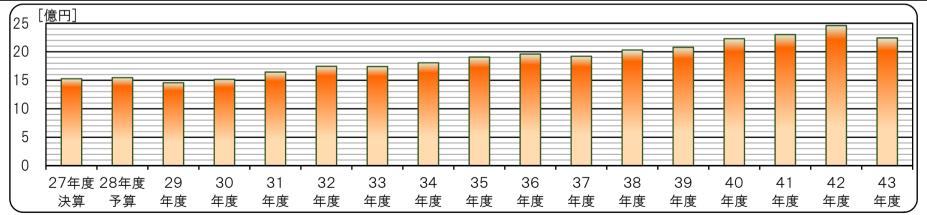
_																			<u> </u>
区		年度(平成)	27年度 決算	28年度 予算	29 年度	30 年度	31 年度	32 年度	33 年度	34 年度	35 年度	36 年度	37 年度	38 年度	39 年度	40 年度	41 年度	42 年度	43 年度
		1 企業債	О	О	0	0	0	0	0	0	0	0	О	0	0	0	О	О	О
資	収	2 他会計出資金	35, 326	1, 153	3, 923	35, 800	39, 648	58, 019	58, 019	97, 142	281, 757	190, 357	49, 627	5, 855	114, 038	114, 038	114, 038	108, 595	412
本	:	3 国庫補助金等	О	О	О	О	О	О	О	О	0	О	О	0	О	0	0	О	О
	入	4 他会計負担金	О	О	0	О	O	0	О	0	0	0	О	0	0	0	0	О	О
的	J .	収入計	35, 326	1, 153	3, 923	35, 800	39, 648	58, 019	58, 019	97, 142	281, 757	190, 357	49, 627	5, 855	114, 038	114, 038	114, 038	108, 595	412
収	· 李	1 建设改良費	75, 922	84, 213	285, 272	142, 821	58, 690	99, 625	203, 093	201, 262	314, 236	267, 803	227, 311	43, 073	218, 476	125, 068	200, 357	134, 815	387, 442
1_		2 企業債償還金	30, 311	24, 135	21, 946	20, 760	20, 737	21, 194	21, 495	21, 964	21, 907	21, 879	21, 856	22, 033	21, 243	20, 896	19, 678	3, 867	2, 437
支	出	支 出 計	106, 233	108, 348	307, 219	163, 581	79, 427	120, 819	224, 588	223, 226	336, 143	289, 682	249, 168	65, 106	239, 718	145, 964	220, 034	138, 682	389, 880

収支作成における考え方

- 企業債、国庫補助金、他会計負担金は見込まない
- 他会計出資金は繰り入れの基準等による算出額
- 建設改良費は、施設整備に係る工事費、委託費、事務費、水道メーター取替費など
- 企業債償還金は、これまでに発行した企業債の元金償還予定 額

3)資金残高

																			単位:千円
区	<u> </u>	年度(平成)	27年度 決算	28年度 予算	29 年度	30 年度	31 年度	32 年度	33 年度	34 年度	35 年度	36 年度	37 年度	38 年度	39 年度	40 年度	41 年度	42 年度	43 年度
		1 当年度純小益	43, 857	45, 959	118, 969	50, 883	57, 237	59, 501	62, 451	63, 317	59, 297	44, 606	57, 377	50, 112	58, 959	65, 984	65, 138	58, 646	57, 277
	業	2 減価償却費	138, 934	145, 031	142, 856	152, 388	154, 676	151, 473	145, 507	131, 072	132, 833	139, 216	141, 714	129, 609	127, 033	126, 181	123, 603	125, 935	126, 654
資	務活	3 長期前受金戻入額	-67, 006	-65, 702	-64, 886	-64, 886	-64, 886	-64, 880	-62, 380	-53, 461	-52, 706	-51, 873	- 51, 342	-32, 433	-30, 066	-29, 604	-27, 960	-27, 004	-25, 384
	動	4 その他	-32, 873	588	1, 591	37, 320	-588	340	-0	103	-1, 121	424	0	-431	-693	-1, 235	-144	20	-266
		業務活動による資金収支	82, 911	125, 876	198, 530	175, 705	146, 439	146, 434	145, 579	141, 031	138, 302	132, 373	147, 749	146, 858	155, 233	161, 325	160, 638	157, 598	158, 281
金	施	1 固定資産購入費	-71,008	-78, 845	-270, 412	-131, 092	-37, 672	-81, 736	-186, 712	-150, 532	- 297, 736	<i>–</i> 247, 516	-214, 252	-20, 824	-200, 968	-103, 444	-182, 608	-103, 444	-374, 632
	設整	2 一般会計繰入金	16, 032	О	О	О	0	О	О	O	О	О	О	О	О	O	O	О	О
	備	支 出 計	-54, 976	-78, 845	-270, 412	-131, 092	-37, 672	-81, 736	-186, 712	-150, 532	-297, 736	-247, 516	-214, 252	-20, 824	-200, 968	-103, 444	-182, 608	-103, 444	-374, 632
残	財	1 企業債償還金	-30, 311	− 24, 135	-21, 946	-20, 760	-20, 737	- 21, 194	-21, 495	- 21, 964	-21, 907	-21, 879	-21, 856	-22, 033	- 21, 243	-20, 896	-19, 678	-3, 867	− 2, 437
	務活	2 他会計出資金	35, 326	1, 153	3, 923	35, 800	39, 648	58, 019	58, 019	97, 142	281, 757	190, 357	49, 627	5, 855	114, 038	114, 038	114, 038	108, 595	412
高	動	支 出 計	5, 015	-22, 982	-18, 023	15, 040	18, 911	36, 824	36, 523	75, 178	259, 850	168, 478	27, 771	-16, 179	92, 796	93, 142	94, 361	104, 728	-2, 026
	¥	i 年 度 変 動 額	32, 950	24, 049	-89, 905	59, 653	127, 678	101, 523	-4, 609	65, 677	100, 416	53, 335	-38, 731	109, 855	47, 061	151, 024	72 , 39 1	158, 882	-218, 377
	늴	当 年 度 残 高	1, 527, 417	1, 547, 189	1, 457, 284	1, 516, 937	1, 644, 615	1, 746, 139	1, 741, 529	1, 807, 207	1, 907, 623	1, 960, 958	1, 922, 226	2, 032, 082	2, 079, 143	2, 230, 167	2, 302, 557	2, 461, 440	2, 243, 063



資金残高は順調に増加できるので、当面は借り入れなしでの更新が可能。しかし、今後、大規模な更新が多発する場合、資金不足が懸念される

§5 収支計画に未反映又は、 今後検討予定の取組みについて

議案1. 印西市水道事業経営戦略(案)について § 5 収支計画に未反映又は、今後検討予定の取組みについて

- 1) 収支計画に未反映又は今後検討予定の主な取り組み
- 民間の資金・ノウハウ等の活用
- 施設・設備の廃止・統合
 - 印旛配水場・松崎配水場の設備更新と新設統合の比較検討
- 施設・設備の合理化
 - 配水管の更新時に、適切な口径となるよう検討
- 施設・設備の長寿命化
 - 定期的な点検・修繕を行うことで法定耐用年数以上の期間で安定的に使用できるように長寿命化を図る
- 水道事業の広域化
 - 県や近隣事業体の動向を注視する
- 水道料金
 - 定期的に適正水準を検証する

§6 今後の予定

議案1. 印西市水道事業経営戦略(案)について § 6. 今後の予定

1)今後の予定

• 2月1日~15日 パブリックコメントの実施

• 3月 第3回審議会(答申)

• 3月末 経営戦略策定